

臨床研究のお知らせ

当院では、医療の向上と国民の健康増進を目的として、下記の研究を実施しております。
不明な点がございましたら、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

① 試料・情報の利用 目的及び利用方法	研究課題名	<p>当院に入院したCOVID-19患者の特徴、基礎疾患、症状、検査所見などからその後の重症度・予後を予測し、治療法別の有効性・有害事象を検証する</p> <p>サブタイトル：</p> <ul style="list-style-type: none">① COVID-19患者に対するファビピラビルの有効性と安全性に関する検討② COVID-19患者に対するトシリズマブの有効性と安全性に関する検討③ COVID-19患者に対するバリシチニブの有効性と安全性に関する検討④ COVID-19患者に対するステロイドの有効性と安全性に関する検討⑤ COVID-19患者に対するレムデシビルの有効性と安全性に関する検討⑥ COVID-19患者に対するワクチンの有効性と安全性に関する検討⑦ COVID-19患者に対する新たな薬剤の有効性と安全性に関する検討⑧ 患者の特徴、臨床所見、検査所見の違いによるCOVID-19の重症度、予後に関する検討⑨ COVID-19の発症時期の違いによる重症度、予後の違いに関する検討⑩ SARS-CoV-2のウイルス株の違いによる重症度、予後の違いに関する検討
	実施予定期間	倫理審査承認後 ～～2023年3月31日
	研究の概要	<p>当院に入院されたCOVID-19患者の症状、検査所見、重症度、治療効果、有害事象、予後などを後ろ向きに検討し、COVID-19の予後予測因子の検討ならびにCOVID-19に対する治療の有効性、安全性を評価します。</p>

	対象となる方	当院に 2020 年 4 月～2022 年 3 月までに入院して治療を受けた COVID-19 患者さんを対象にします。
	研究実施科	呼吸器内科・総合診療科・感染症科
② 利用、又は提供する 試料・情報	通常診療で取得した診療情報を利用し、入院時の患者さんの状態、検査値の違い、治療方法の違いによる死亡率、重症化の割合、検査値の違い、治療法の違いによる入院後の検査値の変化、入院期間、有害事象、入院後合併症、再入院率、後遺症などを評価します。	
③ 利用する者の範囲	当院呼吸器内科、総合診療科・感染症科の研究参加医師のみが情報を取り扱います。	
④ 試料・情報の管理責任を有する者	研究責任者： 呼吸器内科 主任部長 石川暢久	
⑤ 試料・情報の提供停止について	本研究の対象患者に該当する可能性のある患者さんで、自身の情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は下記にお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。 ただし、お申し出をされた時点で、データ分析等を終えている場合は、データを利用させていただきますのでご了承ください。	
⑥ ⑤の受付	⑤について、ご希望の方（代理人可）は下記の相談窓口にご連絡ください。	
	相談窓口	県立広島病院 呼吸器内科 職名 部長 氏名 谷本 琢也 TEL：082-254-1818 （平日 8 時 30 分～17 時 15 分）
研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できますので、問い合わせ先にご連絡ください。		